

平成29年度 事業計画

昨年度は、イギリスの EU 離脱やアメリカ合衆国大統領選挙でのドナルド・トランプ氏当選等により、金融市場が乱高下した激動の一年でした。特にトランプ氏の TPP 離脱やイスラム教徒の入国禁止等の「アメリカ・ファースト」の政策が与える影響などにより、結果的に円安となっている影響で輸出型製造業が好調ではあるものの、依然として大企業と中小零細企業との格差が広がり続けております。そのため、消費者に節約志向が根強く残っていることから個人消費が伸びておらず、景気回復感がないのが現状です。

そのような中、NHK 大河ドラマ「おんな城主 直虎」がスタートし、静岡県西部地域を中心に観光客増加が見込まれ、当地域への経済波及効果も期待されます。

そこで、静岡市観光親善大使である春風亭昇太氏が大河ドラマで演じている「今川義元」のゆるキャラである「今川さん」を活用致します。『反撃！今川さんプロジェクト～駿府城主今川義元』をキャッチコピーに、「NPO 法人今川さん製作委員会」とともに、今年度の当財団のプレゼンス向上を重点テーマとして、各種事業で「今川さん」を前面に押し出して PR してまいります。

具体的な事業の取組として、DMO 事業においては、静岡県中部・志太榛原地域が観光客から選ばれ、稼ぎ続ける街を作り上げる第一歩として、昨年度にマーケティング責任者（CMO）の登用を行いました。今年度はその CMO を中心として潜在的な観光客ニーズの調査や内部のステークホルダーへのヒアリング、地域資源の掘り起こしを通じて、ブランドコンセプトを構築し、圏域内全体へ共有伝播させてまいります。また、構築したコンセプトに基づいた象徴的な企画を立案、営業展開するとともに、地域内観光事業者の既存事業の拡大を目的とした協業事業を展開し、地域全体の観光振興のベクトルをマネジメントする「日本版 DMO」としての取組を本格稼働させてまいります。

MICE 事業においては、近年の訪日外国人観光客の増加により、国は 2020 年における訪日外国人観光客数は 4,000 万人、地方部での外国人観光客延べ宿泊客数は 7,000 万人泊を目標と定め、さらなる高みを目指すとしております。また、2019 年にはラグビー・ワールドカップ、2020 年には東京オリンピック・パラリンピックといった国際的なビッグイベントが日本で開催されることにより、インバウンド関連事業の重要性は非常に高いものとなることは明らかです。そのため、国や県、市などのインバウンド関係機関との連携をさらに強化し、MICE 誘致及び外国人観光客誘致に臨むとともに、地域の観光関連事業者の受入態勢の強化や圏域の MICE の開催支援強化など、現在の取組の強化・拡充を行ってまいります。

観光事業においては、近年の観光スタイルが、観光地を見学し、お土産を買って帰る「モノ」を楽しむ観光から、旅行先で素晴らしい経験や体験をし、感動を持ち帰る「コト」を楽しむ観光へと変化しております。その嗜好するテーマは、文化、歴史、健康増進、アニメなど多種多様なものがあります。そこで、新たに取得した第 3 種旅行業を活用し、着地型観光に注力してまいります。的確に観光客ニーズを

捉え、当地域がターゲットとすべき市場を見極め、当地域が有する多様な地域資源を結び付けた着地型観光商品を造成し、新たな観光客層の誘客と滞在時間の延長、満足度の向上を目指して受入体制を強化してまいります。

財団運営においては、昨年度「国内外から多くの人々が訪れ、活発な交流が行われるまち」の実現のために、「経営ビジョン」や「将来のあるべき姿」を明確にした中長期計画の素案を作成しました。それをさらにブラッシュアップし、今年度10月1日からのDMO 法人化に向けて組織体制を見直し、2020年までの当財団の活動の指針となる中長期計画を策定します。具体的には、民間的経営手法の導入や、機動性と柔軟性を備えた組織強化を念頭に置いた人員管理計画、個人の目標管理制度や人事評価制度の導入、事業における具体的な数値目標を設定します。また、行政及び観光関連業者など、様々な業界との連携を強化することにより、地域内での信頼性を高め、効率的かつ効果的な事業を展開してまいります。人材育成の取り組みとしては、地方創生の本格的な事業展開に必要な人材を育成・確保するために構成された「地方創生カレッジ」の講座カテゴリーのうち「観光・DMO」を必修として職員に受講させ、eラーニングや実地研修により、効果的に知識やスキルを習得してまいります。

財政面においては安定的な財源による継続的な事業実施を可能とするために、徹底的な経費削減に努め、新規賛助会員の加入促進、新たな自主事業の展開、業務の受託による安定的な自主財源の確保にも努めてまいります。なお、静岡市国際交流協会との合併については協議を継続してまいります。

【公益目的事業】

《DMO 事業》

1. 地域連携 DMO 事業・・(重点)

静岡県中部・志太榛原地域の観光振興をマネジメントする日本版 DMO として、潜在的な観光客のニーズ調査や地域内のステークホルダーへのヒアリング、地域資源の掘り起こしを通じて、ブランドコンセプトを構築し、ブランドブックやブランドムービーの制作によるビジュアル化を行い、圏域内全体へ共有伝播させる。

また、構築したコンセプトに基づいた象徴的な企画を立案、営業展開するとともに、圏域内観光事業者の既存事業の拡大を目的とした協業事業を展開する。

(1) ブランドコンセプト戦略構築

- ・ターゲットエリアの潜在的な観光客ニーズの把握調査を実施するとともに、内部ステークホルダーへのヒアリングや地域資源の掘り起こしを通じて、ニーズに沿った地域資源の商品化に向けたブランドコンセプトを構築し、ブランドブック・ムービーなどを制作、圏域全体へと共有伝播させる。

(2) 象徴的な企画の立案及び営業展開

- ・ブランドコンセプトに基づいた象徴的な企画を立案、圏域内ステークホルダーへの営業を実施するとともに、主要なメディアや SNS などを活用したプロモーションを行う。

(3) 圏域内観光事業者との協業事業展開

- ・当 DMO 活動の地域におけるプレゼンスを高めるとともに、圏域内観光事業者の既存事業の拡大を目的とし、協業事業を企画、実施する。

《MICE 事業》

1 MICE 情報収集・情報発信事業

- (1) 観光庁・日本政府観光局（JNTO）及び JCCB 主催の会議、I Love しずおか協議会をはじめ、MICE を中心とした各協議会に積極的に参加することにより情報収集し、圏域内での開催可能性を探る。
- (2) 圏域内で開催した MICE の経済波及効果を調査し、MICE の開催意義を広く紹介する。
- (3) MICE 連絡会を定期的で開催し、開催情報を共有することにより、オール静岡で MICE 誘致に取り組む環境を作る。
- (4) WEB サイト・市政記者クラブ等を通じ、MICE 情報をタイムリーに提供することにより広報宣伝活動に努める。また、外国人観光客誘致のため、海外商談パートナーネットワークを拡大するとともに、定期的にメールを配信し誘客に繋げる。

2 MICE 等誘致事業

(1) 国内外の見本市出展及び MICE 商談会等への参加

- ・国内唯一の国際 MICE 見本市である「国際ミーティングエキスポ」をはじめ、ビジットジャパントラベルマート（VJTM）や JNTO、静岡県などが主催する国内外の見本市及び商談会に賛助会員や関係者とともに出展し、圏域の PR 及び誘致活動を行う。また、商談会の開催に合わせ、台湾・タイ等の旅行社、マスコミ等を訪問し、誘致セールス及び PR 活動を行う。

(2) 首都圏等における大会事務局への戸別訪問及び大会調査

- ・首都圏等の大会事務局を積極的に戸別訪問し、誘致活動を強化する。
- ・金沢市・高松市・宮崎市・盛岡市と連携し、効率的な大会誘致を行う。
- ・圏域内及び他都市開催大会の調査を行い、誘致活動に繋げる。

(3) 訪日教育旅行団体・受入事業

- ・静岡県・静岡市と協働し富士山静岡空港の就航先である台湾などの中高生等の教育旅行誘致のため、JNTO 主催の商談会に参加し、来静された団体の受入を行う。

- (4) 主催者招請事業
 - ・JNTO や静岡県などの関係機関と連携し、国際会議やインセンティブ旅行などの開催に影響力を有するキーパーソンを招請し、誘致に繋げる。
- (5) ランドオペレーター育成事業
 - ・訪日外国人観光客に係る地上手配を行う地元業者(ランドオペレーター)を育成し、誘客に繋げる。

3 MICE 等開催支援事業

- (1) コンベンション等誘致助成金交付事業
 - ア 国際会議誘致助成金交付事業
 - 国際会議の誘致を促進するため、主催者に対し助成金を交付する。
 - イ シャトルバス運行助成金交付事業
 - コンベンション参加者を最寄りの駅から大会会場などに移送するためのシャトルバスの運行に要する経費の一部を助成し、誘致を促進させる。
- (2) コンベンション開催準備資金貸付事業
 - 貸付要件を満たす主催者に対し、開催準備資金の無償貸付を行う。
- (3) その他支援事業
 - ア 歓迎モニュメント設置
 - ・大会名入りのモニュメント設置により、大会参加者に歓迎の意を表す。
 - イ 観光インフォメーションデスクの設置
 - ・大会開催時に賛助会員企業の協力を得ながら、観光名所や土産品の案内など参加者の利便性を図るため、案内・販売ブースを設置する。
 - ・増加する大型客船入港に対応し、国内外からの乗船客に対する歓迎・案内業務を充実する。
 - ウ 観光パンフレット等の作成及び提供
 - ・「今川さん」キャラの入った圏域内の観光施設などの優待割引券付きおもてなしクーポンおよびグルメ&ナイトマップなどを作成・提供し、「今川さん」イメージアップに貢献する。
 - ・オリジナルコンベンションバッグ、名札を作成し、安価で提供する。
 - ・しずおかコンベンション施設ガイドをリニューアルし、デジタル化を念頭におき、書き換え可能なフォーマットを検討する。

《着地型観光事業》

1 観光宣伝事業

- (1) 観光パンフレット等作成・配布事業
 - ・既存パンフレット類の選別を行う。(継続、統合、廃止)
 - ・着地型多言語パンフレットについては、東京オリンピック・パラリンピックを見据え、国際水準のピクトグラムを使用して作成する。
- (2) 広告宣伝事業
 - ・旅行雑誌、地方紙等に主要観光地や旬な情報等の広告を掲載する。

(3) 情報発信事業

- ・Web サイトの更新頻度を高めて内容を充実させ、PV (閲覧数) を上げる。
- ・Facebook などの SNS を効果的に活用し、「いいね！」数を増やす。

(4) 静岡市プロモーション人材事業

当財団主催イベントや依頼団体のイベントに参加し、PR する。

2 観光客誘致事業

(1) 修学旅行等教育旅行誘致事業

静岡市及びしずおか体験教育旅行と連携し、関東圏、中京圏等の小中学校へ体験学習メニューを紹介するなどの誘致活動を実施する。

(2) 国内観光客誘致事業

ア 観光キャラバン隊派遣事業

- ・静岡へのアクセス環境の変化等に対応し、旅行会社訪問等効果的なキャラバンを行い、静岡への旅行商品造成を要請する。

イ 観光展出展事業

- ・大都市圏や連携交流都市などで開催される各種観光展やスポーツイベント等に出展し、グルメや特産品等静岡市の魅力を PR し、観光客を誘致する。
- ・オクシズの PR、商品造成を行い、来訪者を増やす。

(3) 旅行商品企画販売事業

- ・第3種旅行業の資格を活かし、主要イベントや「駿河東海道おんぱく」をアレンジした限定プランや今川史跡関連商品の造成、販売を行う。また、職員に国内旅程管理主任者資格を取得させる。
- ・着地型観光に関するプレスリリースを増やし、報道等により商品造成の要望を受けた際には共同開発する。

3 観光客等受入事業

(1) 観光案内所運営事業

- ・静岡市総合観光案内所、静岡駅観光案内所及び清水駅前観光案内所を運営し、静岡市の観光案内や旬な情報を発信することで、観光客その他の利用者の利便性を高める。また、公衆無線 LAN の整備を継続して行う。
- ・静岡市総合観光案内所においては、カテゴリⅡ移行に伴い外国人来訪者の対応を強化するため、多言語通訳をタブレットやスマートフォンを利用して行うことができるよう整備する。
- ・世界遺産構成資産である三保松原の「はごろも情報ひろば『みほナビ』」において、三保の魅力とともに、市内の他の観光地を積極的に PR することで、観光客の回遊性を高める。

(2) 船宿「末廣」運営事業

- ・清水港及びその周辺地域の歴史に関する資料展示を行うとともに、「まち歩き観光」の拠点及び観光案内機能を充実させ、静岡市を訪れた観光客の満足度を向上させる。
- ・外国客船の入港時に、お茶の淹れ方や折り紙体験などを実施し、日本の文化を体験する機会を提供する。
- ・周辺施設や関連団体と連携し様々な事業を展開し、集客を増やす。

(3) 観光ボランティア活動支援事業

- ・受入環境の整備として、静岡市の歴史や文化、観光などをよりの確にガイドできるよう、ボランティア団体の活動を支援する。

(4) 交流会開催事業

- ・多岐にわたる業界からの参加者を対象とした「異業種交流会」を開催し、情報交換とビジネスチャンスを提供する。

4 イベント等支援事業

地域振興への貢献と情報発信及び相当程度の集客力が見込まれるイベントに対して支援し、他県からの来静者を増やす。

〈対象事業〉

- ・清水カップ全国グラウンドゴルフ大会
- ・アロハ三保フェスティバル
- ・日本平梅まつり
- ・井川もみじマラソン

5 震災等大規模災害時における被災地支援

震災等の大規模災害が発生した際に被災者を支援するため、該当地の経済的復興を目的とした物産展の開催や当地に避難された方への観光施設利用料補助等の支援を行う。

【収益事業の実施】

1 収益事業

(1) 観光施設に隣接する駐車場の管理・運営事業

- ・静岡市登呂駐車場運営事業
- ・静岡市駿府城跡観光バス駐車場受託事業

(2) 静岡駅前地下道ショーケース貸付事業

(3) 観光施設等での土産品等販売事業